初秋のおたより

立秋を過ぎても厳しい暑さが連日続いていますが、いかがお過ごしでしょうか？例年の猛暑に空梅雨後の長雨、近年の異常気象には恐怖さえ感じます。（もう異常では無く通常なのでは……。）

さて先月は、政治・経済情報誌『月刊愛媛ジャーナル』に“感染拡大繰り返すコロナ禍が裾野の広い観光業界にもたらした打撃”というテーマで、業界の影響や同社の取組み、旅行スタイルの変化、自治体への支援の要望などについて７ページにもわたり記事を掲載していただきました。

内容を少し紹介しますと、「旅行消費額がコロナ前から 66%、18.5 兆円も減少に」「自助努力で経費を 35%削減し、各種支援策も最大限活用し事業の継続、雇用も維持を」「団体から個人へのシフトがより加速し、点から点へと目的地だけの旅が増えると予測」「行政には旅行の正しい情報を積極的に発信し、個人以外の団体旅行にも手厚い支援を」詳しい内容を読まれたい方は、ぜひ最寄りの本屋さんにてお買い求め下さい。

先月号なのでお取り寄せになるかもしれませんが……。

感染拡大繰り返すコロナ禍が裾野の広い観光業界にも打撃を
行動変容から「安近短」の志向が一層高まり、「マイクロツーリズム」が伸びる
光田秀之 代表取締役社長

令和４年９月１日

（株）日本交通社

代表取締役社長 光田秀之